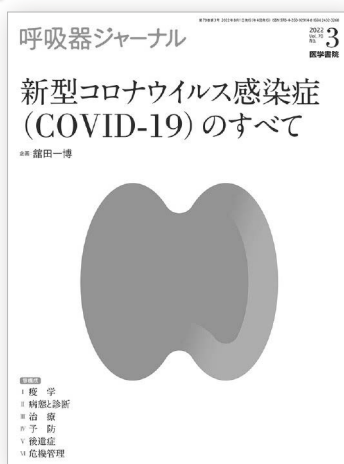


今月の特集関連本



『呼吸器ジャーナル』2022年8月号 (Vol.70 No.3) 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のすべて

館田一博＝企画

定価 4,400 円／A4 変判・152 頁／医学書院／2022

本症と向き合って2年半が経過するなか、確実に診断・治療・予防のレベルは向上してきた。本特集では、「COVID-19(新型コロナウイルス感染症)との対峙」をテーマに本症と第一線で向き合ってきた執筆者が、「疫学」「病態と診断」「治療」「予防」「後遺症」「危機管理」の観点から概説した。最新の情報はもちろん、各執筆者の考え・思いが濃縮された1冊。

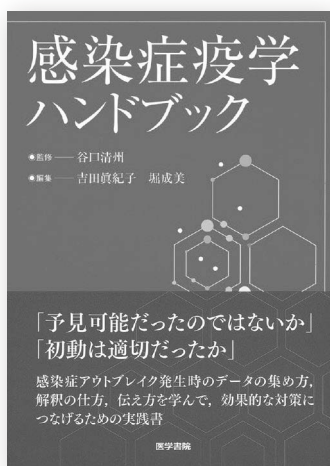


『公衆衛生』2022年7月号 (Vol.86 No.7) 災害対策・危機管理の専門家による COVID-19 パンデミックの検証

高島毛敏雄＝企画

定価 2,640 円／B5 判・96 頁／医学書院／2022

近年、防災領域においては、あらかじめ災害が起きることを想定し、人的被害を最小限とする社会システムを整えることに力が注がれるようになってきた。すなわち、「防災」と「公衆衛生」の目標がとて近くなってきている。本特集では、COVID-19 (新型コロナウイルス感染症) パンデミックを「災害」の専門家はどうか捉えているのか、災害として対処した場合にどのような可能性や課題があったか、を考察した。



感染症疫学ハンドブック

谷口清州＝監修

吉田眞紀子、堀 成美＝編

定価 3,740 円／A5 判・320 頁／医学書院／2015

感染症アウトブレイク発生時のデータの集め方・解釈の仕方・伝え方を学んで、効果的な対策につなげるための実践書。国立感染症研究所実地疫学専門家養成コース (FETP-J) 出身者が中心となって執筆。医療機関・自治体・保健所のスタッフが知識と経験を共有して活動していくうえで必須の1冊。感染症アウトブレイク下における連携と協働のために！ 新春特別座談会 (p.1) にもご登場の谷口清州先生が監修。